

# 令和4年度第3回原町区地域協議会

## 会議録

① 開催日 令和4年6月24日（金）

② 場所 原町保健センター2階会議室

③ 会議時間 開始 午後 2時00分  
終了 午後 3時03分

④ 出席委員（11人）

会長 平間 勝成	副会長 本間 健一	委員 奥村 健郎
委員 村上 勇一	委員 齋藤 健一	委員 志賀 ゆかり
委員 田中 章広	委員 波田野真由美	委員 藤原 ヒロ子
委員 伏見 順栄	委員 鈴木 洋一	

⑤ 欠席委員（4人）

委員 半谷 眞知子	委員 貝塚 大暉	委員 小野 幸枝
委員 後藤 悦宏		

⑥ 説明のため出席した者の氏名

長寿福祉課長	稲村 和史
長寿福祉課介護保険係長	高橋 一美
教育総務課長	大石 雄彦
教育総務課総務係長	加藤 安枢子

⑦ 出席した事務局職員

星 高光 庄司 一弘 高野 良 北原 圭子

⑧ 担当書記

北原 圭子

⑨ 本日の会議に付した案件

(1) 報告事項

①南相馬市みらい育成修学資金条例の一部改正（素案）に係るパブリックコメント  
手続の実施について

⑩ 会議録署名委員

委員 齋藤 健一 委員 志賀 ゆかり

1 開会

午後2時00分開始

■原町区地域振興課長

委員の皆様には、お忙しいところご出席いただきまして誠にありがとうございます

す。皆様お集まりいただきましたので、定刻前ではありますが、ただいまより令和4年度第3回原町区地域協議会を開会いたします。

## 2 会長あいさつ

### ■原町区地域振興課長

はじめに、原町区地域協議会平間勝成会長からご挨拶を頂戴いたします。

### ◇会長

(会長あいさつ)

## 3 議事

### ■原町区地域振興課長

これから議事に入りますが、これ以降は、会長が座長になり会議の進行をお願いいたします。

### (1) 会議録署名人の指名

#### ◇議長

それでは、次第により議事を進めてまいります。

はじめに、会議録署名人の指名ですが、会議録署名人には、齋藤健一委員と志賀ゆかり委員の2人をお願いします。

### (2) 書記の指名

#### ◇議長

次に、書記の指名ですが、書記は原町区地域振興課北原主事を指名します。

### (3) 報告事項

#### ◇議長

では報告事項①「南相馬市みらい育成修学資金条例の一部改正（素案）に係るパブリックコメント手続の実施について」担当課から説明をお願いします。

### ■長寿福祉課

### ■教育総務課

(説 明)

#### ◇議長

只今の説明に関して、何か質問等があればお願い致します。

### ◎村上委員

資料13ページの、南相馬市みらい育成修学資金貸付制度についてですが、この表のほかに、既に働いてから資格を取るために養成学校に入っているケースもありますが、そういう方は該当しないのでしょうか。

### ■長寿福祉課

そういうケースも確かにございます。そういう方も貸付について該当すると考え

ています。

◎村上委員

それでは、貸付対象の表を実務経験のある人もプラスして、分かりやすい表に替えてほしいと思います。

■長寿福祉課

わかりました。分かりやすくいたします。

◎本間副会長

予算についてお伺いします。募集枠が結構あるようですが、一般予算ですか、基金として予算を持っているのですか。

■教育総務課

育英資金貸付につきましては、特別会計で予算を持っています。

◎本間副会長

特別会計とは基金のことですか。

■教育総務課

基金ではありません。

◎鈴木委員

入口での大学や短大の話をしていますが、介護福祉士や社会福祉士の資格を持っていて職についていない人がかなりいると推測できます。出口の待遇等が良くなければその職は選ばないし、奨学金を使わないと思います。介護士もそうですが、有資格者でその職についていない人がどの位いるのでしょうか。福祉系の募集説明会のチラシがよく出ていますが、どれ位効果があるのでしょうか。令和4年4月の採用が5名ということですが、新規の学卒で介護福祉士や社会福祉士の資格を取って就職する方が5名ということなのかお聞きしたいです。

■長寿福祉課

資格を持って新規に勤められた方は令和3年度は全体で14名です。ただ、資格を取っていても別の業種に行かれた方はいると思いますが、そこまでの追跡調査は行っておりませんので、確認できません。

◎鈴木委員

社会福祉協議会の方がいらっしゃるのをお聞きしますが、介護施設の離職する理由の主なものを教えてください。

◎村上委員

退職の理由としては、女性の多い職場ですので人間関係が多いです。また家族の健康状態のことなどいろいろです。他に、雇用条件の問題で、正職員になれないということで退職する方もいます。

◎本間副会長

今回のみらい育成修学資金条例改正は素晴らしいと思います。これは本市独自のものなのか、国の方針なのか、国の補助金が入っているのか教えてください。

■教育総務課

南相馬市として介護分野の人材確保に力を入れたいということと、また育英資金貸付も今ある制度をより充実させ、市として独自に力を入れていくために改正を行うものです。国の制度を受けての改正ではございません。

◎田中委員

育英資金貸付が募集枠に対して応募件数が少ないですが、例えば、貸付金額が低すぎるとか、周知が行き届いていないとか、何か問題があるのではないですか。県の基本統計結果でこれくらい大学に進学していて、奨学金制度のニーズについての潜在的分析がありますが、裕福だから利用していないのか、制度がわからないのか、利用したかったが該当しなかったのかなど使い勝手の悪さや、取りこぼしが多かったかなど、調査の課題としてほしいです。学生に対し就学支援をするだけでなく、資格を取りたい、就業したい、住宅を持ちたい方にも適用を膨らませて、住民が定着できる、また移住したいと思える貸付制度や給付制度の充実を図ってほしいと思っています。総論としては、今回の制度の拡大新設に関しては好意を持っています。

もう一つですが、資格を取るため就学するための貸付制度ですが、この制度を利用し別な所に就職しても、特に何もありませんね。市にお金さえ返せばいい制度ですね。この制度の目的は、市内の医療福祉関係の人材不足に対してなので、この地域の人材不足に組み込まれないと、制度的には欠陥ということになるのではないですか。最初は地元で頑張ろうと思っていたとしても、例えば仙台の方が給料も高いということで、地元外に就職する方がたくさんいると思います。人それぞれなのでルール化が難しいと思いますが、ややもすると市税を投入しても費用対効果が出にくい場合があると思いますので、そこのところを考えてほしいです。最初から南相馬市に就職する条件を付けては奨学金の利用を控えてしまうと思うので、今までどおり条件を付けずに奨学金制度を進めてほしいです。しかし、いろいろな課題があると思うので、5年後10年後と制度を活用した人がどの位定着しているかなどの分析をしてほしいと思います。

■教育総務課

いただいたご意見はそのとおりだと思います。育英資金につきましては、どうして利用に至らないのか、また介護福祉士、社会福祉士等の貸付制度についても定着率、利用の成果等について今後分析を進めて行きたいと思います。

◎志賀委員

育英資金の金額は、合併前は小高町、鹿島町、原町市、それぞれいくらだったのですか。

■教育総務課

月額で旧原町市は大学で45,000円、高専・専修学校で30,000円、高校で15,000円、旧鹿島町は、大学で30,000円、高専・専修学校で15,000円、高校で10,000円、旧小高町が大学で48,000円、高専・専修学校で35,000円、高校で18,000円

でした。それぞれ医師・獣医師の部分はありませんでした。旧小高町をベースに医師・獣医師の部分を新しく設定して現在の制度になっております。

#### ■長寿福祉課

奨学金制度を活用いただき学校を出たとしても、仙台や福島等に就職してしまうことも多いですが、いずれ市内に導いていくことが重要だと考えています。そのためには、介護事業所に魅力がないと戻ってこないと思います。今回の条例改正をプラスに、6月の議会には別な要綱として、介護事業所に就職した方に対して就労奨励金を支給しましょうという制度を提出いたしました。魅力ある職場として取り組んでいただくお願いをしながら、奨励金なども活用いただき、人材確保に力を入れていただきたいと思います。また、商工労政課では、魅力ある職場づくりという補助金があります。職場環境の改善や休憩室を造ったりというものがございますので、併せて各介護事業所の改善を図っていただき、魅力の発信を人材確保に向けて動いていただきたいと思います。

#### ◎田中委員

要望ですが、供給にいくらお金を使っても勤めた先で離職してしまっただけでは、焼け石に水です。いずれ、修学資金制度は有効ではないとういことになってしまいます。市では介護事業所等の魅力向上に力を入れてほしいです。離職の原因は、人間関係ばかりでなく、身体的にしんどいということがあります。もっと職場で器械やITを使えたらもっと仕事がしやすい、身体的苦痛から少しでも解放できると思います。現場の労働環境の改善に市として力を入れてほしいと思っているので、稲村課長の話は腑に落ちました。

#### 4 その他

##### ◇議長

次に次第4その他の(1)の市内視察研修について

##### ■事務局

(7月21日と8月18日の地域協議会議事終了後に実施する市内視察研修についての説明。視察先は7月は南相馬市消防・防災センターと福島ロボットテストフィールドと南相馬市産業創造センターを8月は南相馬市防災備蓄倉庫と小高パイオニアビレッジとh a c c o b aで、質問等のある委員は質問書に記入の上提出を依頼し、了承を得た。)

##### ◇議長

(2) 次回の開催日程について事務局からお願いします。

##### ■事務局

(説明)

##### ◇議長

次にその他の(3)のその他について

■事務局

(住みたい田舎ベストランキングで2022年東北エリア部門で第3位となっていたことに対する選ばれた理由、南相馬市の取組についての説明。

5 閉会

午後3時03分終了

■原町区地域振興課長

以上をもちまして、第3回原町区地域協議会を閉会といたします。ありがとうございました。

以上のとおり相違ありません。

会長

平間 勝成

会議録署名人

齋藤 健一

会議録署名人

志賀 ゆかり